

病棟名：救命救急センター病棟

病床数：24床



スタッフ人数：看護師長 1名・副看護師長 2名・看護師 42名
看護アシスタント 2名・事務アシスタント 1名
男性看護師 10名

部署の雰囲気：

救命病棟は院内で最もスタッフ数が多い部署であり、男性看護師も多いことから普段はわきあいあいとした雰囲気です。

重症患者さんの緊急入院や転出が多い病棟ではありますが、観察、記録、処置など役割分担し、迅速かつ正確にそれぞれの役割を果たすチームワーク抜群の部署です。また CCU(冠疾患集中治療室)が3床あり、心疾患や心電図モニターなどを深く学べるのもこの部署の特徴です。

部署の自慢できること：

重症度の高い患者さんやさまざまな診療科の患者さんを看護することができるため、自分の努力次第で、多くの知識と技術を得ることができます。またペア体制での勤務であり、先輩看護師から指導教育を得られやすい環境となっているため、安心して看護することができます。

そして、専門資格(呼吸療法認定師・DMAT など)をもつエキスパートナースが多数在籍しておりいつでも相談、アドバイスを受けることができます

スタッフからのメッセージ：

救命病棟は、緊急入院や転出が多く忙しいため、1人の患者さんと長く関わる機会は少ないですが、懸命な治療、看護の甲斐あって重篤な状態を脱した患者さんやご家族より、感謝の言葉をいただいたとき、看護のやりがいを感じます。

幅広い領域の患者さんが入院してくるため、学ぶことが多く、最初は大変だと感じることも多いかもしれませんが、私たちと一緒に働きながら看護のやりがいを実感してみませんか？

師長(管理者)からのメッセージ：山下真由美

大切にしていること：何事においても、人生の中で「無駄」ということはない。
どうせやらなければならないのなら、楽しもう

救命救急センター病棟は、CCU3床を含む24床で稼動しています。「県民最後の砦」として24時間全診療科の患者を受け入れ、安全で安心な医療を提供することを使命として日々頑張っています。重症から軽症の緊急入院に対応する病棟であり、忙しくなると、スタッフのやる気スイッチが「オン」状態になり、みんなが協力するチームワークの良さが、病棟の最大の魅力です。

スタッフ数は中央病院の中でも1番多く、男性看護師もたくさん配属されています。2021年度は5

名の新任者が仲間として、加わりました。

緊急入院された患者さんの状態を観察し、症状の緊急度・重症度をアセスメントする。異常の早期発見につとめ、全身状態が安定すれば、一般病棟へ患者さんを繋いでいく…。1人の患者さんを入院から退院まで看ることは少ないかもしれませんが、緊急入院された患者さんの過程の中で、最も重要なところに関わることができる、とてもやりがいのある病棟だと思います。

そして同時に、不安を抱いている患者さんや家族の感情を想像し、受容したり寄り添う支持的な態度やスキルが重要であり、大切です。

緊急度や重症度が高い病棟ですが、先輩スタッフは「オン」と「オフ」の切り替えがとても上手で、いい意味での緊張感を持ちつつユーモアや優しさを兼ね備えた人たちです。そして、「頑張りたい!」と思っている後輩には、自分の持っている知識や技術を惜しみなく伝授してくれます。

そして常時ペア体制で患者を看ることができ、困った時に相談できる環境が、病院の中で1番整っていると思います。

そんな救命救急センター病棟で是非、一緒に働いてみませんか？

スタッフ一同、お待ちしております！

